

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化 武道推進モデル校 研究報告

<h2>剣道・弓道</h2>	光市立大和中学校（山口県） 電話番号 0820-48-2803 メールアドレス amato-j@hikari-net.ne.jp
----------------	--

●実践研究のねらい

- 武道の地域スポーツ指導者による系統性のある指導を受けることで、武道の楽しさを味わい、武道の魅力を感じることができる。
- 武道を通じて日本の伝統文化に触れることで、生徒の視野を広げ、将来の進路や生涯スポーツとしての選択肢を豊かにすることができる。
- 武道の学習を通して、伝統的な礼儀作法を学び、学習したことを日常生活に活かそうとする気持ちを高めることができる。

●多様な武道の指導モデル 第3学年（2学級43名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
種目	剣道							弓道			
学習の流れ	オリエンテーション（剣道）	あいさつ・準備運動（胴垂れ着装）					剣道授業のふりかえり・お礼状作成	オリエンテーション（弓道）	あいさつ	移動	弓道授業のふりかえり・お礼状作成
		剣道の歴史	日本剣道型	武道の話	武道の話	基本動作確認			弓具の紹介	グランドにて体験学習	
		剣道の特性	基本動作 ※対人 面小手胴	胴垂れ 着装説明	基本打突 (対人)	基本打突 確認			競技 武道としての弓道	行射	
		礼法指導	有効打突 の条件 ※気剣体	基本打突 (対人) ※送足	基本打突 (対人) ※応じ技 面抜き胴	判定試合 ※応じ技					
		基本動作 ※空間打突 面小手胴	リズム剣道 ※対人	基本打突 (対人) ※踏込足	判定試合の 説明 ※気剣体 判定	まとめ			基本動作 礼法	お礼	
		整理運動・ふりかえり・竹刀&胴垂の片付け・挨拶									

●指導の工夫

本授業では、弓道と剣道の地域スポーツ指導者を招き、正しい礼法や基本動作（剣道：構え・足さばき・面打ち、弓道：射法八節のうち基本姿勢）を安全に学べるよう指導を工夫した。導入では、武道の歴史や文化的背景を専門的な立場から説明し、生徒の興味関心を高めた。防具や弓具の扱い方ではマンツーマンの指導を行い、安全管理を徹底した。技能練習では、剣道の打突練習や弓道の的前での射体験に地域スポーツ指導者の実演を取り入れ、生徒が本物の技術を目で見て体験することで理解を深めた。また、地域スポーツ指導者との対話を通じて質問や助言を受ける機会を設け、主体的な学びを促進した。さらに、武道の魅力を体感することで集中力や礼儀を重視する態度を育成し、日本の伝統文化への理解を深めるとともに、生涯スポーツや将来の進路選択の幅を広げる機会とした。

●授業の様子



【剣道：模範演技】

地域スポーツ指導者による模範演技の様子



【弓道：行射体験】

地域スポーツ指導者による行射指導の様子

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

<p>1. 多様な武道（※2種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。</p>	<p>2. 多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。</p>	<p>3. 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。</p>																														
<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>高まった</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>やや高まった</td><td>40.0%</td></tr> <tr><td>あまり高まらなかった</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>高まらなかった</td><td>0.0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	高まった	50.0%	やや高まった	40.0%	あまり高まらなかった	10.0%	高まらなかった	0.0%	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>深まった</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>やや深まった</td><td>46.7%</td></tr> <tr><td>あまり深まらなかった</td><td>3.3%</td></tr> <tr><td>深まらなかった</td><td>0.0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	深まった	50.0%	やや深まった	46.7%	あまり深まらなかった	3.3%	深まらなかった	0.0%	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>楽しい</td><td>66.7%</td></tr> <tr><td>やや楽しい</td><td>23.3%</td></tr> <tr><td>あまり楽しくない</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>楽しくない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	楽しい	66.7%	やや楽しい	23.3%	あまり楽しくない	10.0%	楽しくない	0.0%
Category	Percentage																															
高まった	50.0%																															
やや高まった	40.0%																															
あまり高まらなかった	10.0%																															
高まらなかった	0.0%																															
Category	Percentage																															
深まった	50.0%																															
やや深まった	46.7%																															
あまり深まらなかった	3.3%																															
深まらなかった	0.0%																															
Category	Percentage																															
楽しい	66.7%																															
やや楽しい	23.3%																															
あまり楽しくない	10.0%																															
楽しくない	0.0%																															
<p>本年度の武道授業において、生徒からは多くの前向きな感想が寄せられた。剣道や弓道を通じて、日本の伝統文化に触れる貴重な機会となったことを実感している様子が見られる。特に、「構える時から試合が始まっている」という気づきや、集中力・心の落ち着きの重要性を学んだという声が多かった。「普段体験できないことができてよかった」「武道を知ることが日本を知ることにつながると感じた」という声もあり、授業を通じて武道への興味を持ち始めた生徒が増えている。武道の授業は生徒にとって有意義であり、今後も継続する価値が高いと考えられる。</p>																																

●成果

本年度の武道授業では学年が上がるにつれて、生徒の礼儀や姿勢への意識が高まり、相手を敬う心や集中力の重要性を理解するなど、精神面での成長が見られた。剣道や弓道の体験を通じて、日本文化への興味を深める声も多く、武道を知ることが伝統文化の理解につながるという認識が広がった。地域スポーツ指導者との連携により専門的な指導が充実し、教員の指導力向上にもつながったことが成果として挙げられる。

●課題

一部の生徒は武道への関心が浅く、授業後も継続的な興味につながっていないことが課題である。また、技術指導に偏る時間もあり、礼儀や精神面の意義を十分に伝えきれない場面もあった。さらに、教員の武道技術や知識不足のため、研修や指導力向上の取組を継続することが求められる。